

東京大学 宇宙資源連携研究機構

Center for Space Resources and Innovation

資源を地球外に求める時代に対応し、地球外資源の利用と制度設計に向けた理工系・社会科学系の
知の有機的連携となる新たな学際領域『宇宙資源学』を構築し、地球規模課題解決に貢献する

大型受託研究（SX拠点）・社会連携講座を通じて、実証実験・パッケージへの実装・事業化を加速、产学共創体制を強化

- UTokyo Compassとの関連性
 - ・地球規模課題への取組 (1-1)
 - ・卓越した学知の構築 (1-3)
 - ・国際感覚をはぐくむ教育 (2-2)

- ・大学院教育における次世代課題への対応(2-4)
- ・国際的な場の広がり(3-5)

次世代リーダーを体系的育成（理・文系問わず若手が国際的実証研究、社会実装、国際合意形成等、実践の場に主体的に関与）

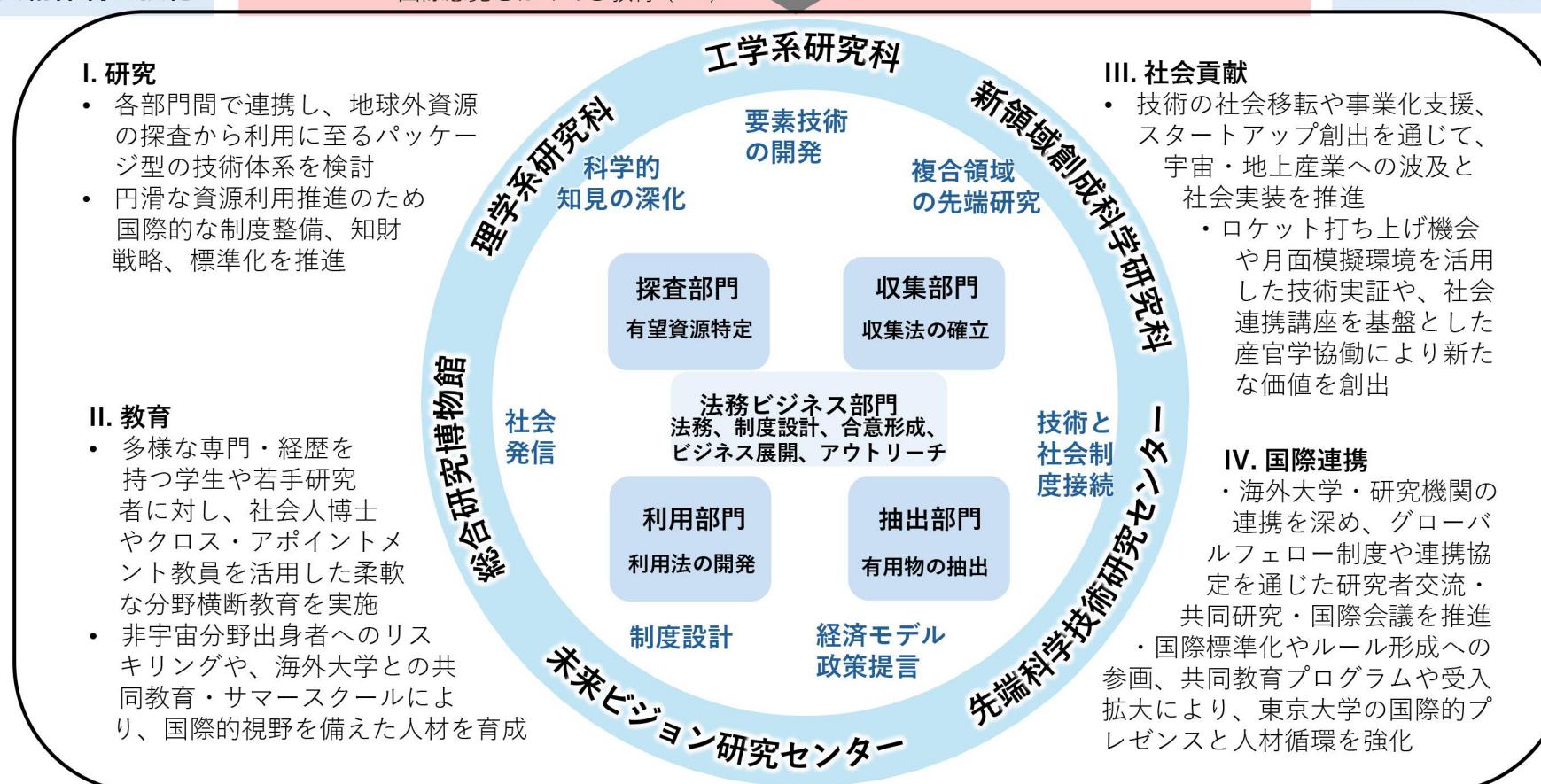
宇宙機関と連携
JAXA, NASA,
CNES, DLR他

他大学と連携

慶應義塾大学、学
習院大学、東北大
学他

海外研究機関と連携

Planetary
Science Institute,
CNRS他



産業界と連携

非宇宙企業との連携、
投資銀行・ベンチャー
キャピタル、スタート
アップ

民間企業と連携

国内>10社と連携
海外の宇宙資源開発
会社数社との連携

海外大学と連携

Adelaide Univ., Univ.
Arizona, Colorado
Sch. Mine 他

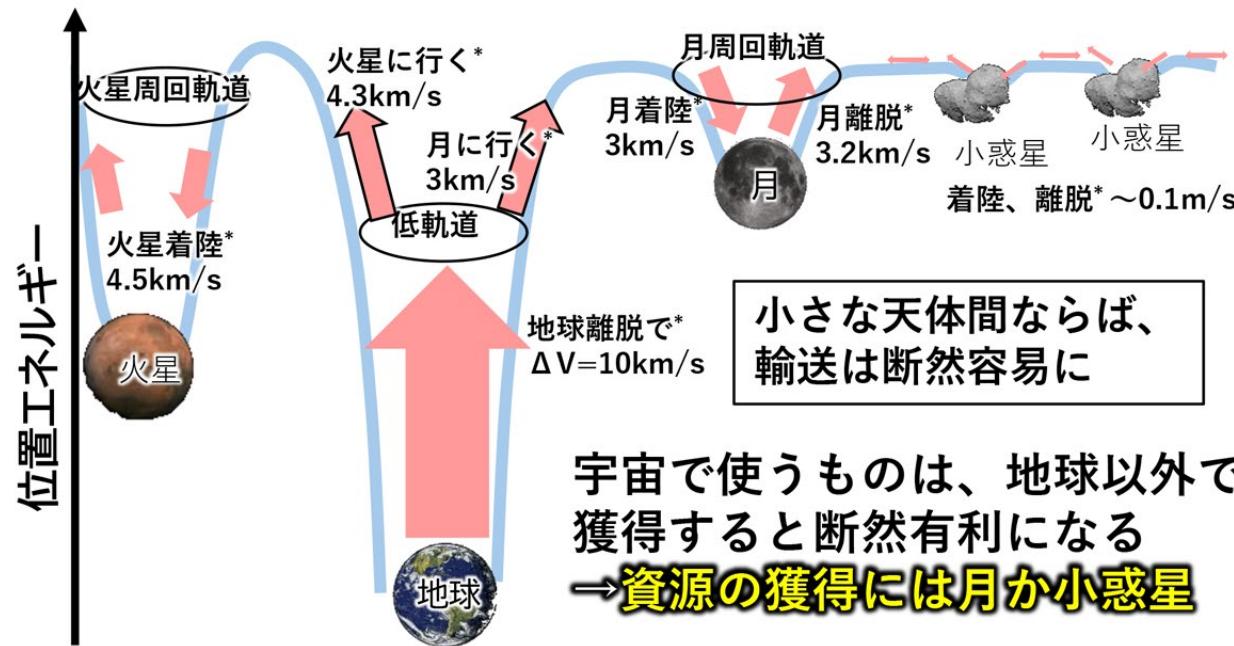
期待される成果：設置期間中に蓄積される知的資産と国際ネットワークを活用し、宇宙資源分野における新産業の創出と社会実装を加速する。国内外の政府機関・大学・企業との連携を通じて、国際共同研究や標準化活動を推進し、知の発信と社会への還元を図る。さらに、科学技術・制度・ビジネスを横断的に担う人材育成プログラムを体系化し、修士・博士課程学生や実務人材の育成を進める。これらを通じ、東京大学を拠点とした世界的研究教育拠点の形成と、持続可能な資源利用モデルを確立する。

100個以上の天体が既に探査され、太陽系の全体像や資源の存在が把握された
(科学探査は今後も重要性は揺るがない、今後も活発に進むはず)

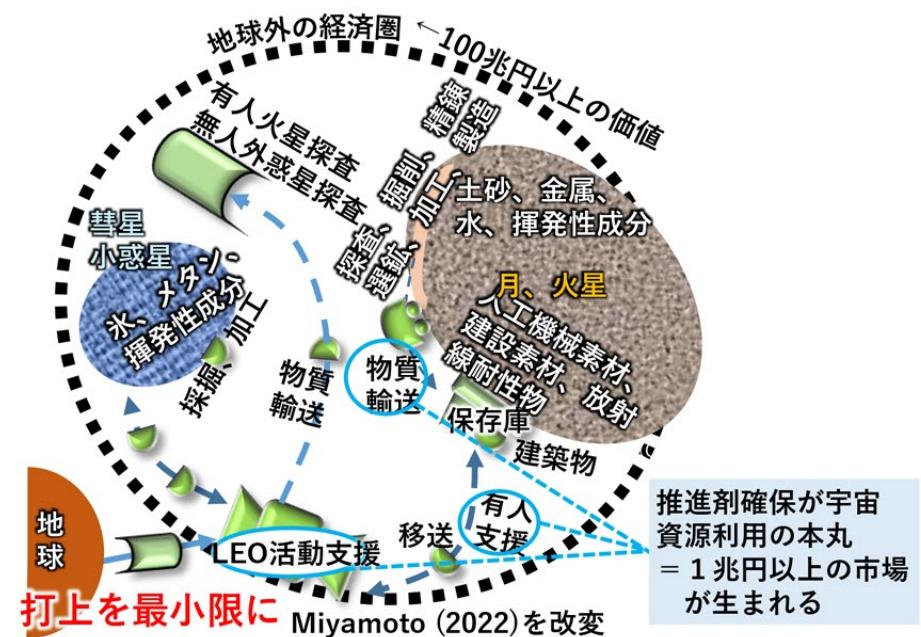


Image credit: NASA

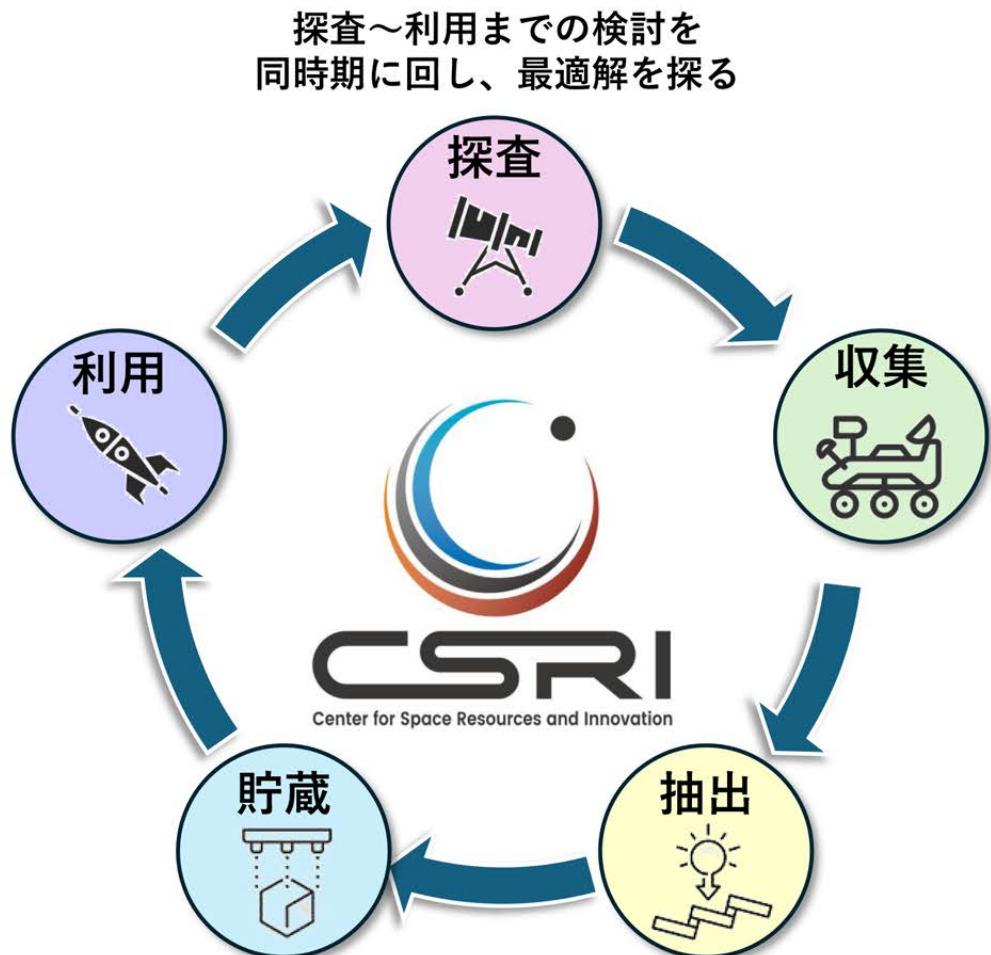
地球は岩石質天体で太陽系最大で、その強大な重力から逃れることは難しい



宇宙で使うものは、地球以外で獲得すると断然有利になる
→資源の獲得には月か小惑星



宇宙資源連携研究機構のビジョン (想定する宇宙資源とは、月と小惑星の物質)



宇宙資源連携研究機構での開発



詳細・お問い合わせはこちら



機構では月・小惑星などの模擬物質を
大量に作製する